

HEAT NEW AGE CUP オフィシャル キックルール

第1条 試合

- ① 試合は、主催者指定の四角形リングを使用する
- ② 体重契約を設けている場合、対戦予定の双方と主催者で協議の上決定する
- ③ キックルールの試合は2分の3ラウンド、インターバルは1分間とする。
- ④ 延長戦ありの場合、2分1ラウンドの延長戦を設ける。
- ⑤ 選手は必ずマウスピース、ファウルカップを着用する
- ⑥ キック試合は主催者が用意した10ozグローブを着用しなければならない。
- ⑦ ルールミーティングの際に着用する装備品を持参し、レフェリーのチェックを受けなくてはならない
- ⑧ バンテージ、テーピングの使用は選手の任意とするが、レフェリーのチェック及びサインを必要とする
- ⑨ 顔面にワセリン等の塗布を認める。
- ⑩ 密着状態（首相撲）の場合、攻撃は1回とする。

第2条 勝敗

- ① ギブアップ 口頭で意思表示をした場合
- ② レフェリーストップ レフリーがこれ以上の試合続行は危険であると判断した場合
- ③ ドクターストップ リングドクターがこれ以上の試合続行を不可能と判断した場合
*負傷した選手のドクターチェックは、ニュートラルコーナーでレフリー立会いのもとで行われ、セコンドがこれに介入することはできない。
診断の対象ではない選手は、反対側のニュートラルコーナーで待機する。
- ④ 試合放棄 セコンドがタオルをリング内に投入した場合
- ⑤ 失格 1度目の反則に「注意」、2度目の反則に「警告」、それぞれにイエローカードが提示され、3度目の反則にはレッドカードの提示とともに「失格」とする
また、「注意」「警告」の段階でレフェリーが反則の回数に関わらず、レッドカードが提示の場合は即失格とする
- ⑥ 判定 全ラウンド終了時点で勝敗が決定しない場合は、ジャッジ3名による判定に委ねられる。
- ⑦ ノックダウン ダウンしてから、10秒以内に立ち上がれない場合。
*スリーノックダウンで行う。但しトーナメントの場合はツーノックダウンとする。

第3条 判定基準

- ① 判定の優先順位
1. 相手に与えたダメージ 2. 積極性 3. 印象

第4条 レフェリーの指揮

- ① レフェリーの指示、裁定は絶対なものであり、選手とセコンドは服従しなければならない
- ② ロープ際の攻防で選手が落ちそうになったとき、またはロープが著しく攻防の妨げになっ

ている場合、レフェリーはブレイクを命じ、リング中央で両者スタンド状態試合を再開する

- ③ 試合進行上、ルールに明記されていない不足の状態に際しても、レフリーの決定に従わなければならない

第5条 反則

- ① 反則行為（減点、失格の対象） 頭突き、肘打ち、金的攻撃、消極的姿勢及び有効的でない攻撃を続ける、相手をリング外へ投げる（押し出す事も）、ロープを掴む、ロープに手足を引っかける、リング外へ逃げる、延髄・脊髄への打撃攻撃、自身または相手のグローブ・装備品・シューズを掴んでの攻撃

第6条 その他

- ① 選手は試合当日、グローブを着用する前に必ず検査員によるグローブチェックと、グローブを封印したテープにサインを受けなければならない。また、一度封印された後は、試合終了までグローブを外すことはできない
- ② セCONDは2名までとし、試合中は自軍のコーナーから離れてはならない。また、試合中セCONDが選手に直接接触した場合、そのセCONDの退場を命ずるか、そのセCOND側の選手に反則としての罰則を与える
- ③ 選手、セCONDがレフェリーの裁定に異議を申し立てる場合、試合終了後2週間以内に文章で提出すること。リング上を含め直接抗議することは禁止する
- ④ 契約体重が設定されている選手は、試合前日もしくは当日、主催者指定の時間にレフェリー立会いのもと計量を行うが、それでもパスしなかった場合は罰則をかせられる
- ⑤ ドクターチェックは大会当日、試合前に必ず受けるものとする
- ⑥ 本試合より45日以内に、あらゆる試合においてKO、もしくはTKOをされている場合は、本試合に出場できない